

12<sup>th</sup>

• 慶応義塾ワグネルソサイエティー

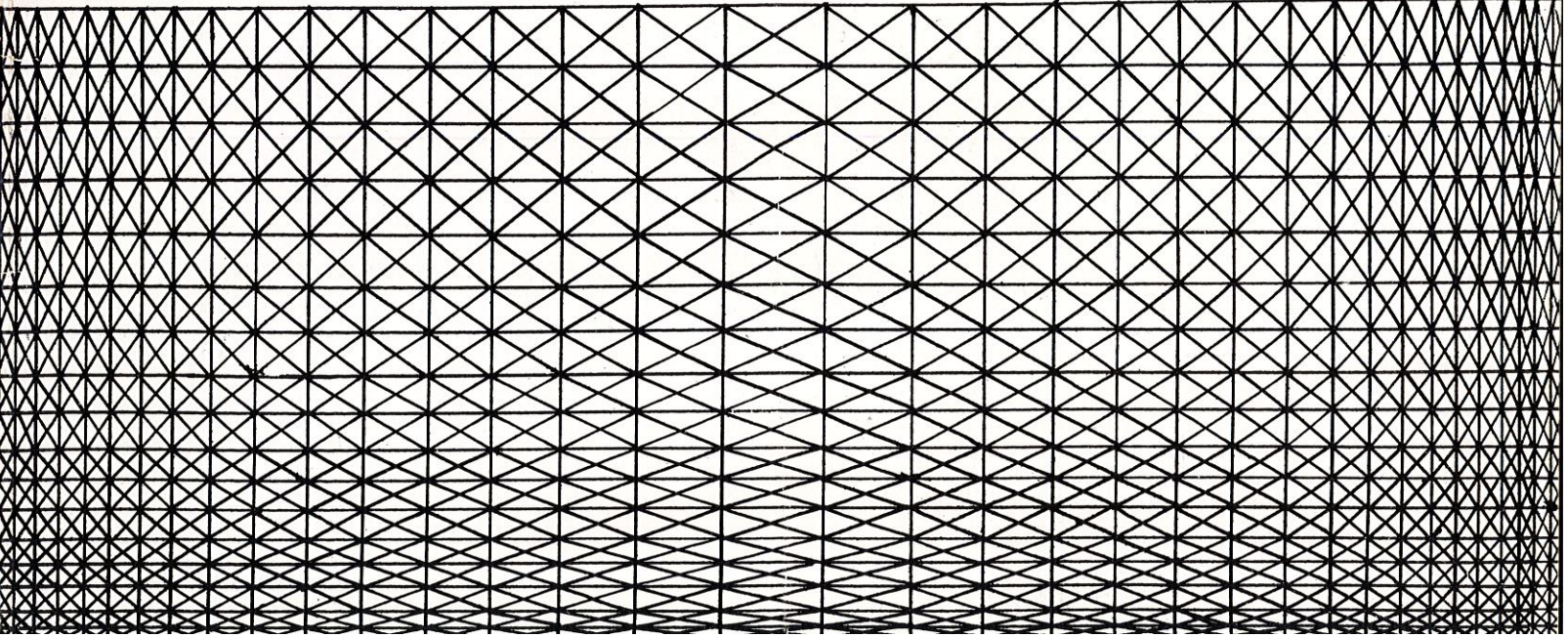
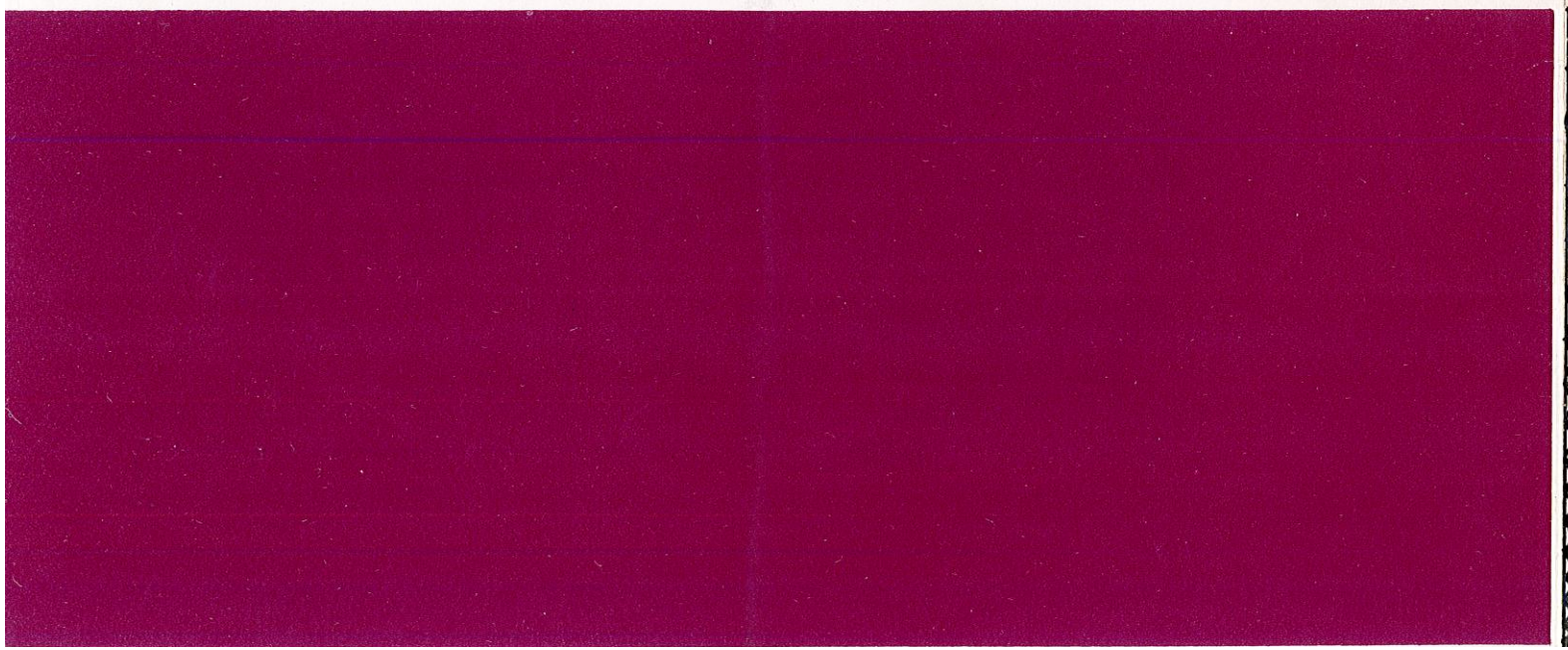
• 同志社グリークラブ

• 関西学院グリークラブ

• 早稲田大学グリークラブ

# 東西四大学合唱演奏会

6月22日(土)23日(日) PM. 6.30 東京文化会館





第12回  
東西四大学合唱演奏会

1963年6月22日(土)23日(日)〈6:30P.M.〉  
東京文化会館大ホール



# P R O G

# R A M M E

## エール交換

第1日

関西学院グリークラブ  
早稲田大学グリークラブ  
同志社グリークラブ  
慶応義塾ワグネル・ソサイエティー

## 同志社グリークラブ

指揮 林 節  
伴奏 福永陽一郎

### イタリア古典歌曲集 編曲 福永陽一郎

- |                           |              |
|---------------------------|--------------|
| 1. Amarilli mia bella     | G. Caccini   |
| 2. Già il sole bal Gange  | A. Scalatti  |
| 3. Largo                  | G. F. Händel |
| 4. O delmio dolce Ardor   | Ch. W. Gluck |
| 5. Chi vuol la zingarella | G. Paisiello |
| 6. Piacer d'amov          |              |

## 慶応義塾ワグネル・ソサイエティー

指揮 木下保  
伴奏 井上直幸

### J. S. Bach Choräle (バッハ・コラール集)

- O Haupt voll Blut und Wunden  
von St. Matthäus-Passion
- Ach wie Flüchtig, ach wie Nichtig  
von Kirchenkantate 25
- Wachet auf, ruft uns die Stimme  
von Kirchenkantate 140
- Trotz dem Alten Drachen  
von Motette "Jesu, meine Freude"
- Wohl mir, dass ich Jesum habe  
von Kirchenkantate 147

編曲 (1.2.3.5) B. Treharne  
(4) C. D. Dawe

第2日

同志社グリークラブ  
慶応義塾ワグネル・ソサイエティー  
関西学院グリークラブ  
早稲田大学グリークラブ

(ステージ順)

## 関西学院グリークラブ

指揮 川村輝夫

### 男声合唱のための組曲

「子供の国」 作曲 平吉毅州

- 白熊仔熊
- 雪女
- さより
- ちひさなちひさな水車
- 子守歌

## 早稲田大学グリークラブ

指揮 三石精一

### シューマン男声合唱曲集

- Der träumende See
- Die Minnesänger
- Die Lotos blume
- Lasst Laulenspiel und Becherklang
- Der Eidgenossen Nachtwache
- Freiheitslied

## 合同演奏

指揮 木下保  
伴奏 萩原照彦  
井上直幸

### 交声曲

「若者の歌」

作曲 清水脩  
作詞 藪田義雄



関西学院

グリークラブ



関西学院グリークラブ小史

明治 22 年 9 月 28 日、関西学院は神戸摩耶の霊峰を背にし、瀬戸の内海を前にする原田の森にその仄々の声をあげました。人格、材幹共にすぐれたランパス宣教師の如き信仰と日本の青年に対する友誼の結晶としてキリスト教精神によって建てられた学院には創立の当初から既に音楽がありました。当時の学院の学生は頭に三日月を戴き、神を讃え、創造をことほぐ讃美の歌を歌っておりました。このような環境の中にあつて、後年男声四部合唱が学院に生れ育って来たのは、むしろ当然のことと云えましょう。関西学院グリークラブは日本に於ける最古のグリークラブとして生れ、古き先輩達によって学院建学の精神に沿って育つて来、成長への礎を固められ、幾多の後輩がよくその伝統を継ぎ、明治から大正、そして大正から昭和へと、着々発展し続け、64 年間男声合唱のよきハーモニーを維持して参りました。

その間、山田耕筰、津川圭一、由木康、林雄一郎、故大沢寿人等の大先輩を生み出しました。昭和 8 年より連続 3 年コンクール優勝を頂点とする黄金時代を経て、第 2 次大戦の混乱の中にあつても一時として絶える事なく続けられ、戦後はいち早く立ち直りをみせ、やがて昭和 23 年より再開された全日本コンクールには 6 年連続優勝し、昭和 29 年には招待出演の榮譽を担い、昭和 30・31・33 と優勝し、さらに 35 年から去年まで 3 年連続優勝を成遂げ、本年再び招待演奏を受けることとなりました。又、三月には我国初の海外演奏旅行として約 2 週間台湾を訪問して参りました。

私達グリークラブの間ではいつ頃からか「メータル・ハーモニー」ということが云われております。合唱する声のハーモニーと共に、先輩も現役部員も一つに融け合う心と心のハーモニーが美しい歴史を作つて行つたとも云えるでしょう。

役員

顧問 笹森 四郎 教授

部長	河野 多嘉雄	サヴ・マネージャー	宮本 久登
指揮者	川村 輝夫	副会計	堀 清高
マネージャー	村田 堅之助	副庶務	三谷 章夫
"	岡田 芳昭	"	林 恒男
人事	渡辺 晃一	パート・リーダー	
会計	門田 好正	Top.	細井 修二
庶務	布川 捷二	Sec.	山崎 巖
"	川村 信雄	Bar.	森 美典
サヴ・マネージャー	河辺 司郎	Bass.	永井 折昇

曲目解説

白熊仔熊  
詩 サトウ・ハチロー

粉雪ちらちら  
白熊仔熊  
空見て一人で喜んだ

日暮もちらちら  
白熊仔熊  
お手々に粉雪つもらせた

夜更けもちらちら  
白熊仔熊  
昔の歌などつぶやいた

明日夜があけても  
大きな熊は  
あの子もこの子もつくるなよ

眺めて横むく  
白熊仔熊  
みるのはみるのはつらすぎる

雪 女  
詩 北原白秋

吹雪の晩に呼ぶのは誰だ  
曠野のをんな  
夜ふけのをんな  
遠くて近い  
白くて青い  
吹雪の中に ほらまた呼んだ  
おねんねぼうや  
もう夜がふかい

さより  
詩 北原白秋

サヨりはうすい  
サヨりはほそい  
ぎんのうをサヨリ  
きらりとひかれ

つきよのかはに  
だれだれでてる  
さざなみこなみ  
ちらりとひかれ

サヨりはうすい  
サヨりはほそい  
ぎんのうをサヨリ  
おねえさまに にてる

サヨリのうちは  
まみずかしほか  
つめたいサヨリ  
みづのたまはけよ

ちひさなちひさな水車  
詩 サトウ・ハチロー

ちひさな ちひさな  
みづぐるま  
ちひさながれに  
まはってる

ちひさな ちひさな  
きねとうす  
ちひさなおとして  
ついてゐる

ちひさな ちひさな  
するしゃばん  
ちひさな おててで  
はかってる

子守歌  
詩 葛葉国子

ねんねなさいませ  
よいお子は  
ねんねのおさとへ  
まいりましょ

ねんねのおさとの  
ねむのはな  
ぽっかりおはなが  
さきました

ねんねなさいませ  
よいお子の  
ゆめにさくはな  
ねむのはな

ヤングレデイの楽しい  
ショッピング!

季節のレディスウェアがいっぱいです

\* 婦人服 / スエーター / ブラウス  
バッグ / アクセサリー

すきやばし 和光 WAKO

本店 / 東京 銀座四丁目



同 志 社

グリークラブ



同志社グリークラブ紹介

同志社グリークラブも今年で 58 歳を迎えることになりました。現在では部員の数も 130 余名を有する大きな団体となりましたが、めまぐるしい歴史のうつりかわりの中で、アマチュア音楽団体として、いろいろの変遷をとげながら、一步一步今日まで伝統を築いて来ました。

草分け時代の明治 34,5 年頃は讃美歌を練習するための小さなグループに過ぎなかったのですが、現在私達同志社グリークラブの名譽顧問である片桐哲先生がグリークラブと名付け、初代指揮者となり、はじめて組織化されました。

長い歴史を振り返って見ますと現顧問遠藤彰先生が 16 代指揮者であり、現指揮者の林節が 32 代目であるのを知るとき、丁度グリークラブが孫の代の活動、飛躍の年に入っているようにも思えます。

毎年の定期演奏会はもとより、コンクール、テレビ、ラジオ、休暇を利用して行なわれる春、夏の演奏旅行にと、研究と努力を続けております。そしてただ音楽追求のみでなく、それを通じてのメンバー相互のメンタルハーモニーカレッジライフの向上にも精進を重ねています。

戦後、全日本および関西合唱コンクールには 15 回出場し、1 位 5 回、2 位 9 回、3 位 1 回の成績を取っております。かくの如く半世紀を超える輝かしい歴史のあいた、すでに 600 名に近い先輩を送り、今なお音楽界に活躍中の内田栄一、湯浅永年、山口隆俊、宅孝二、今西善治郎の諸氏もその中の一人であります。

そして昨年からは、今までもいろいろ御指導下さった福永陽一郎先生を技術顧問として、大久保昭男、中村博之両先生をヴォイストレーナーとしてお迎えし、より高い音楽の創造を目的に、なお一層の前進への努力をしております。

役 員

名譽顧問 片桐 哲  
顧問 遠藤 彰  
ヴォイストレーナー 中村 博之  
大久保 昭男

幹事 長 青木 一 雄  
内政 日 和 通 夫  
渉外 中 野 寿 紀  
外政 畑 中 宣 彦  
会計 松 本 慎 一  
庶務 松 原 毅  
渉外 小 宮 山 紀 夫  
ス テ ー ジ 山 口 達 夫

指揮者 林 節  
副指揮者 中 川 清  
パートリーダー  
Top. 井 阪 紘  
Sec. 坂 下 義 紀  
Bar. 西 川 紀 行  
Bass. 後 藤 健 夫

曲 目 解 説

イタリア歌曲は声楽を学ぶ人は必ずやらねばならない重要なモノですが、シューベルトやトスティーのように甘さはありません。清潔さや、素朴が生命なので、音楽的には大変むずかしいものです。畑中良輔先生はその著作の中で「自己の感情におぼれ、激情的な表現をもって歌うことは許されない」と言っておられます。「歌う」ことが究極であった僕たちにとってはまず珍しいレパートリーだと思います。でも最後の「愛の欲び」はムードミュージックとしてもよく演奏されますからお耳に親しいことでしょう。

Amarilli mia bella  
アマリリ麗し

美しい私のアマリリよ  
おまえは私の心信じないのか  
やさしい恋人よ  
おまえは私を愛してくれるだろうか？  
信じておくれ  
たとえ恐れが おまえを襲っても  
疑ってはいけない  
開かれた私の胸におまえは  
書かれてあるのを見るだろう  
「アマリリ アマリリ私の恋人よ!」と

平和はけっして侵されない  
南風もいたずらに吹きすぎはしない  
永久に茂る木陰よ  
慕わしくなつかしい木陰よ

かきたてるのはおやすいこと  
お年よりなら燃え立たせてあげましょう

美しいジブシイ娘を  
お望みなのはどなたです  
皆さん一ついかがです

O del mio dolce Ardor  
おお優しの恋人よ

おお優しの恋人よ 心から望むものよ  
おまえのいぶきの微風は  
私の最後のためいきなのだ  
おお私はどこを向いていても  
おまえのいとしい面影は  
私の愛をかきたてる  
私の思いはこの上ない楽しい希望を装う  
そして私の心を満す願いの中に  
おまえを求め 呼び 期待し 嘆息する  
おお優しの恋人よ 心から望むものよ  
おまえのいぶきの微風は  
私の最後のためいきなのだ

おお優しの恋人よ 心から望むものよ  
おまえのいぶきの微風は  
私の最後のためいきなのだ  
おお私はどこを向いていても  
おまえのいとしい面影は  
私の愛をかきたてる  
私の思いはこの上ない楽しい希望を装う  
そして私の心を満す願いの中に  
おまえを求め 呼び 期待し 嘆息する  
おお優しの恋人よ 心から望むものよ  
おまえのいぶきの微風は  
私の最後のためいきなのだ

Piacer d'amor  
愛の欲び

愛の喜びはたった一日も続きはしない  
けれど愛の苦しみは永久に続くのだ  
不実な彼女シルヴィアのために  
私はすべてを失ったのに  
彼女は今は私を捨て他の恋人に  
思いを寄せている  
「平野を巡って小川が静かに  
海に注ぐまで私はあなたを愛します」  
と不実な人は私にいった。  
小川は今も変わらず流れているが、  
彼女の愛は変わってしまったのだ  
愛の喜びはたった一日も続きはしない  
けれど愛の苦しみは永久に続くのだ

Già il sole dal Gange  
陽はのほりぬ ガンジスより

陽はガンジス河に明るく輝き  
明け方の涙の露を美しくした  
金色の光で樹々を飾り  
大空の星の光で草原をいどった

Largo  
ラールゴ

若く美しい私の愛する  
すずかけのこずえは  
あなたのために  
輝くばかりおい茂っている  
雷 いなずま あらしにあっても

Chi vuol la zingarella  
ジブシイ娘をお望みなら

美しいジブシイ娘を  
お望みなのはどなた？  
皆さん一ついかがです  
バルコニーの婦人よ  
見事に占いたしましょう  
そちらの若い方の心を

大丸特製紳士既製服  
**トロージャン**  
型紙からプレス・仕上げまで完全な一貫作業 既製服では常識破りの縫製です なかでも一番のポイントは肩の線 前肩に縫い合せて 自然な線を生かした入念な超高圧仕上げ 肩に負担のかからない満点の着ごこちです ぜひ一度お試しください

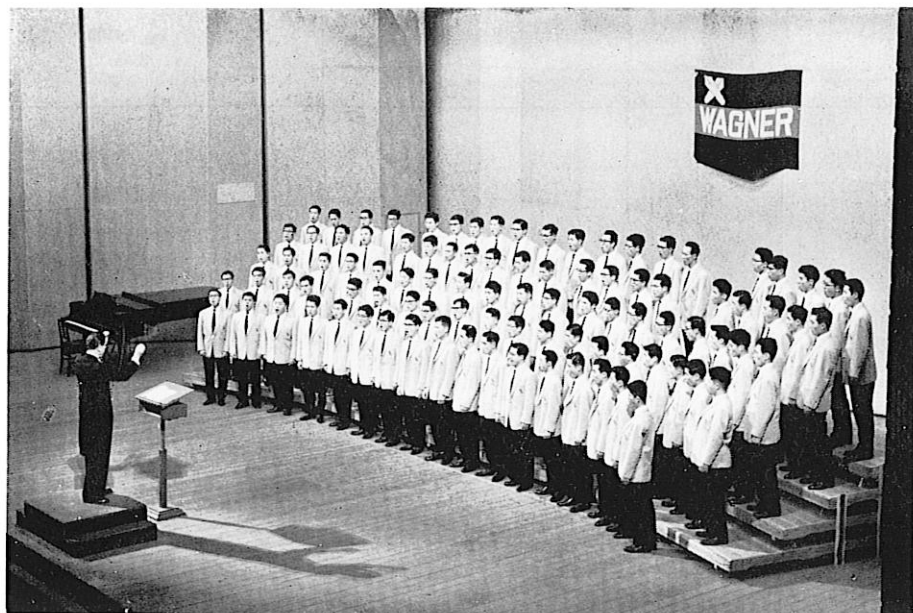
着やすさのポイント  
は  
肩の線...

東京・大阪  
大丸  
京都・神戸





慶 応 義 塾  
ワグネル・  
ソサイエティー



慶応義塾ワグネル・ソサイエティー紹介

ワグネル・ソサイエティーは、1900年に誕生しました。明治・大正・昭和三代の歴史の変遷の中で、アマチュア音楽団体としてワグネルもいろいろの変革をしつつ一步一步伝統を築いてきました。「世紀の偉大なる哲学者であり革命家であり、新しい音楽を創造した大芸術家リヒャルト・ワグナーの名にあやからう」というのがワグネルの由来である。

明治の末には既に数回に及ぶ満州への演奏旅行が行われています。大正初期からはワグネル主催の音楽会は、慶応の一大行事として盛況でした。大正から昭和にかけては故大塚淳先生と並んで、現在顧問指揮者の木下保先生、故橋本国彦、山田耕筰両先生の御指導を受けました。昭和12年以後は山口雅章、梅原文雄の先輩両氏の指導に依り演奏活動を続けましたが、大太平洋戦争と共にワグネルも苦難の時代が到来しました。

戦後、廃墟の中から再び活動が始まりました。昭和21年帝劇で復活第一回目の定期演奏を開き多大の感銘を聴衆に与えました。

現在ワグネル男声合唱団は130余名の部員を有し、木下保先生を顧問指揮者に、専任指揮者に畑中良輔先生、更に大久保昭男、北村協一、井上直幸の諸氏の御指導の下に合唱音楽の追求に邁進いたして居ります。昭和27年以来、東京六大学合唱連盟、東西四大学合唱連盟に加盟しています。

今回の四大学の演奏会も早いもので12回目を迎えました。更に一層高い音楽の創造のために活動するつもりです。

役 員

部 長 村 田 武 雄  
顧問指揮者 木 下 保  
常任指揮者 畑 中 良 輔

責 任 者 太 田 守 人  
内 事 庶 務 日 野 忠 彦  
外 事 庶 務 両 木 豊 司  
会 社 計 画 山 田 武 昭  
マ ネ ジ ャ ー 関 渡 辺 昇 彦  
 佃 靖 彦  
 宇 賀 神 一 雄  
 未 宗 明 士

指 揮 者 猪 原 竜 吉  
副 指 揮 者 田 中 敏 夫  
パートリーダー  
Top. 大 山 忠 一  
Sec. 中 山 喜 弘  
Bar. 遠 峰 駿 一 郎  
Bass. 小 藤 田 豊 章  
文 連 委 員 山 田 潤 二

サブ・マネジャー

曲 目 解 説

有能な音楽家でもあった、宗教改革者ルターは、新しい礼拝様式における音楽の重要性を認め、自からカトリック聖歌、ドイツ民謡、世俗歌曲、又は自作の旋律等に、宗教的なドイツ語の歌詞をつけて、新しい聖歌として一般に奨励した。これがいわゆるコラール（衆賛歌）なのであり、カトリックにおけるグレゴリオ聖歌と同様に、プロテスタント音楽の基礎となるものである。改革期においては、会衆により、単旋律で歌われるか、合唱隊によって、コラール旋律をテノールとした、対位法的編曲によって歌われていた。しかし、16C末になると、ソプラノに旋律を置いた四声部から成る、和声的な編曲が成されるに至り、現在の賛美歌の形態が生れた。これは、従来の対位法を中心としたイタリアの音楽に対し、重厚なドイツ音楽の基礎となった。

会衆と共に歌われたコラールは、民衆にとって、非常に親しみ深いものとなり、教会音楽の作曲家達は好んでこれを取り入れ、コラールカンタータ、コラールモテット、コラールファンタジー、等々の形式を生み出した。数世紀にわたる西洋音楽の発展を自己の音楽の中にまとめ、後の西洋音楽の出発点ともなった大作曲家 J. S. バッハにおいても、現存するものでも、コラール旋律に和声をつけただけの作品は371曲に達し、その他、これを定旋律として作曲された作品は無数にあり、いかにこのコラールが重要であったかは、推察出来るのである。

今日は、そのバッハの作品より五曲を、シャーマン版の男声合唱曲集より選び、演奏いたします。

第一曲 “おお、血潮したたる主の御頭”

彼の作品中の頂点であるマタイ受難曲中の、パッションコラールとして有名な曲、この旋律は、歌詞と和声を変えて五回現われるが、これはその第63曲目に現われるもの。この旋律は“我が心はやさしき乙女によりて乱れぬ”と題する中世の恋愛歌曲と言われている。

“苦悩と侮蔑を受け、その御頭は血潮と傷にまみれ、いばらの冠を頂きぬ。栄誉とかざりに美しくかざられるべきを、されど今、かくも罵られる主よ!”

と十字架上のキリストを歌う名曲である。

第二曲 “いかにほかになく、いかにむなしき”

彼の教会カンタータは、彼の声楽曲の中心をなすものであるが、約200曲が現在している。その内の第26番で歌われるもの。人の今を、現われてはすぐ消える霧にたとえて、そのはかなさを歌ったもので、各声部が細かく動き、流れる霧を表わしている。

“いかにほかになく、空しきか人の命、現われては忽ちに消え去る霧のごとく、見る物は全て散り去り消え去るべく永遠に生きるは神を恐れるもののみ。”

第三曲 “覚めよと呼ぶ声あり”

第80番の“神はかたき磐”と共に最も有名な、教会カンタータ第140番で歌われる名曲。この旋律は1598年に出版された、ある書物の付録にあったもので、起源は不明とされている。

“覚めよ、なんじエルザレム。見よ、花婿は近ずきぬ。明りをかかぎて民すべて立ちて迎えよ。人も天使もハーブキンバルも、喜び歌う。王座を囲みて我々賛えん”。

と、キリストの再臨を喜び歌う。ロマンティックな、非常に美しいコラールである。

第四曲 “恐るなかれ”

この曲は、他の四曲と異なりコラールではない。彼の作品中、現存するモテットは六曲であるが、その中の第三番“イエス、わが喜び”の中の第八曲目である。原曲は五声部の作品であるが、この編曲では原曲をそこなわないように、四声にしている。

“死の深淵の古きへびを恐るるな、世界は荒れ裂けようとも我は安らかに立てて歌う。神の御力、我れを守り給うなれば、いかに吠え叫べども、この世も地獄も、黙せざるを得ず”。

とロマ書の一節を力強く歌う。

第五曲 “幸なるかな、我れイエスを信ず”

教会カンタータ第147番の、非常に美しい伴奏を伴ったコラール。元来、コラールは無伴奏で演奏されるのであるが、彼はこの伴奏を好み、管弦楽、オルガン、ハーブソコード等々に、種々編曲をしている。

“幸なるかな、イエスを信ずる我れ、痛み悲むとき、我れを愛し励まし給う。イエスは、我が喜び、我が生きる力。たとえ我が心、はり裂けんとも、我信ず”。

とキリストへの深い信仰と愛を歌う。





早稲田大学

グリークラブ



早稲田大学グリークラブ紹介

私達グリークラブの母体は大正年間にあります...

卒業生は300名にも及び、夫々の職場の合唱団で、或いはO.B.の合唱団である...

年間の主な行事には、学内式典、定期、送別、第九、東西四大学、東京六大学、等の演奏会...

現在、学生合唱の進む方向についてさまざまな議論がされています...

役員

Table with 4 columns: Position, Name, Position, Name. Lists club officers and staff members.

曲目解説

Der träumend See (J. Mosen) 夢みる湖
潮が水の花におおわれ
青い夢の底にしずまっている...

でもかそけて草はそよいで
くったくなく穂先をゆすり
青い蝶がただ一羽
穂波の上を飛んで行く。 ただ一羽。

Der Minnesänger (H. Heine) うたびと
歌合せにうたびとたちが進み出る。
ほいこりゃ奇妙なたたかいいよ。
まったく奇妙な比武試合ぶり。

泡ふき猛ける空想が乗馬だし
たくみのわさが楯の役
言の葉 そやつがその剣
稜敷にや貴な女ら見てござるが
勝利の冠捧げる右手は見当らぬ。

元気に戦士は闘技場に躍りこむもの
ところがたびとたちは深手の身。

歌合せにうたびとたちが進み出る。
ほいこりゃ奇妙なたたかいいよ。
まったく奇妙な比武試合ぶり。

Die Lotosblume (H. Heine)

はすの花
はすの花眩ゆき日の光恐じ
頭たれ
夢みつつ夜を待つ
月こそ愛しの君
やさしき光に目覚め
はすの花うち解けて慎ましき
花顔の被衣はらいぬ。
花開き、もえて、かがやき
黙しつ身をもたぐる。
恋こがれ、かおり、おののき
涙流しぬ。

Lasst Lautenspiel und Becherklang

琴かき鳴らし杯あわせよ
琴かき鳴らし杯あわせよ
いまし青春のほがひの時
謝肉の祭過ぎなば四旬の齋ぞ

Der Eidgenossen Nachtwache

盟友の夜番一チロルの夜番

静かな入江夜の闇に
谷底深く世界はねむる。
まわりの山々夜番に立ち
見回りつとむる天津御空
黄金色のつわもの卒い
善き人々を守らんと
國中あまねく、めぐり、へめぐる。
はしご、なわ、ひも手にとりて
たくらみ深く、いざ攻め来れ。
さあれ主のみ力のいや強く
汝が浅知恵をうちくだかん
さかしらなりき汝が心
巖の縁より欺瞞は
まなこくらみて落ちゆかん。
あわれ、痴れ者中傷よ。

森に生いたつ樹々のごと
われら相寄り団結せん。
難攻不落の堅き城
守るは老兵、忠誠をつちぬく。
昇れ太陽うるわしく。
夜や寄せくる敵兵を
高き虚空より
神の名にかけ投げ落とせ。

Freiheitslied (F. Rückert)

自由の歌
ああ、大地よ、縮黒の力よ おののけ
どん底まで落ちる。
思想は目覚め、翼うち振り、
お前が繋ぎとめなければ
飛びたち逃げ出す。
答える答えろ、繋ぎとめられるかを。

稲妻が
夜半半響に伏す囚人に
壁の割れ目を示す時。
牢の板目が、ベリッと折れ
希望が頭をもたげる様に
精神は自由を求め、
壁を脱け出て飛ぶのだ。

恋人の腕の中に抱かれているように
悦楽に酔い痴れた感覚に
突如 電光が閃き
天使の歩まれる天上に
浄らかな愛の
さし招く姿を見るのだ。

訳詩 早稲田大学助教授 戸室博

Advertisement for 'pp rêt a porter' by seibu西武, featuring a large 'pp' logo and descriptive text.



交声曲「若者の歌」

交声曲「若者の歌」は、大学合唱協会の依しよくにより、昭和30年、清水脩氏により作曲されたものである。もともと男声合唱と二管編成の管弦楽のために書かれたものであったが、その後は混声合唱で演奏されることが多かった。

今回、私達が東西四大学の合同演奏にこの曲をとりあげたのは、この「若者の歌」が男声合唱の持つダイナミズムを十分に発揮させてくれるということもあるが、それと同時に、藪田義雄氏による詩が、私達現代に生きる若人の気持ちに強い共感を与えてくれるからでもある。以前に四連でとりあげた、石井敏作曲の「枯木と太陽の歌」では、同じ人間の心を歌っているが、何かあきらめの感情があったがこの「若者の歌」は、この危機感に満ちた現代社会にあって、ともすると挫折しがちな我々若人が、心の火を失うことなく、生きぬこうとする様を、ダイナミックに歌いあげたものである。

曲は三つの楽章からなり、第一章「光はどこにあるのか」は、Largo, misterioso と指定してある様に、静かに、ゆっくりと「疑問」を提起する。第二章「草の葉の願い」は、Allegretto と軽い一拍子で、若者を「一本の草」にたとえ、疑問が、願望へ。そして、祈りへと高まる。そして第三章「鳴りとよむ潮騒」では Tempo dimarcia とマーチになり青年の決意を高々と歌いあげる。

原曲はオーケストラと男声合唱のための交声曲であるが、今回は二台のピアノの伴奏によって演奏する。

若者の歌

藪田 義雄

第一章 光はどこにあるのか

光はどこにあるのか、  
光はどこからくるのか。  
声は呼びかける 遠い地平の果てに  
遙かな山彦を返しながら。

地上はこんなに明るいのに  
それでも心は暗いという、  
地上に色は咲きみだれても  
それでもこの世は暗いという。  
誰もが闇に喘いでいる、  
誰もが光に飢えて渴いている。

血ぬられた剣は  
いつの日にか  
錆に鍛ちかえされるだろう、  
いつの日にか  
錆に鍛ちかえされるだろう。

第二章 草の葉の願い

草の葉は何を考えるのであろうか。  
風の通り過ぎたあとから起きあがり  
まっすぐに立ってしようとする。  
かほそい草のひとすじひとすじが  
生れたままの姿で、  
根をおろしたところに、  
しがみついている、  
いのちの証をたてようとしている。

草の葉は何を願い、  
何を祈るのであろうか。  
風のなかで青い芽はふるえる  
それでも一心に伸びようとする、  
天にむかって  
いのちの証をたてようとする、  
そうだ、この火を消してはならない  
この火を消してはならないのだ。

第三章 鳴りとよむ潮騒

愛あるところ、人の上に人はない、  
国を鎖す境はない。  
世界は環一つ一つの輪に  
潮騒のごとく鳴りとよむだろう。

友よ、手をとれ、肩を組め、  
足並を揃えろ、  
われらの行歩を  
世界の大道に向って進めよう。  
朝紅の彩るごとく、  
夕紅のたなびくごとく、  
いまこそ  
高らかに平和への希望を歌おう。

若者われらの手によって  
新代の神話の一ページを飾ろう。  
輝かしいわれらの首途の朝だ。



合同演奏の指揮に当って

木下保

東西四大学の合唱演奏会は今年で12回目になるのだそうですが、ふりかえって見ると、私が合同演奏の指揮をするのは今度で3回目になります。第8回の合同演奏では、歌を歌うほどの人なら誰でも直ぐにでも歌える、山田耕筰作曲の「からたちの花」「待ちぼうけ」等を僅か一度だけ、しかも演奏会の直前に極短時間の練習でステージに上ってしまったと記憶して居ます。そして演奏後私の芸術的良心に対して恥じ入り、その後しばらくはやり切れない気持ちが続いて弱ったことも思い出します。勿論一切あのような演奏はすまいと決心したことでした。

二ヶ年が過ぎて第10回(一昨年)の時、また指揮をするようにとの相談を持ちかけられたので、其の際東西四大学の實力、存在価値の認識や我が国合唱界からの期待と、其の及ぼす影響、重大な使命等に就いて話し合い、私さへ骨おしみすることなく努力すれば或る程度満足のいく演奏も出来ることだし、それは第8回の恥をステージで挽回することにもなると思い直し、文字通り東奔西走して練習を重ね、石井敏作曲の「枯木と太陽の歌」の演奏となったのでした。たまたま作者石井氏は二日も熱心に演奏を聴かれ、お世辞にしてもお賞めを頂き、喜んで頂きました。何よりも聴衆の皆さんにアピールしたので、多くの苦勞が実った喜びを味ったのでした。

「枯木と太陽の歌」の演奏直後に、もしまたチャンスがあったら清水脩作曲の「若者の歌」をとマークして居たのでしたが、今度の第12回に又指揮を依頼されて、早速「若者の歌」を提案したところ、幹事一同に即座に賛同を得て決定し練習に入ることになりました。ところが困ったことに、此の曲はもともとオーケストラ伴奏の曲なのですが、原作者の種々の都合で未だオーケストラの総譜が出来上っておらず、終に今度の演奏会には間に合わず、やむなくピアノ二台にしての伴奏で演奏するこ

とになったのです。残念だがいたしかたのないことです。「若者の歌」に就いては演奏を聴いて頂けば解るのですが、演奏技術面に非常に困難を伴う曲なのです。然し東西四大学の若人の意気と熱をこめて励み、現代青年の言わんとするところを心一杯身体ごとぶっつけて歌い上げることの出来る曲でありますから、以前にも増して全員同一層奮勵努力をして来まして、何卒御期待下さい。

挨拶

清水脩

このたび、四連で、私の「若者の歌」がとりあげられる由、作曲家として喜びにたえません。

しかも、私の最も尊敬する木下保先生のバトンのもとで歌われるとあれば、この上、何を望むことがありましよう。

「若者の歌」は、もともと、大学の合唱団のために書いたものです。青年の懐疑、夢、希望といったようなものを、危機の充満する現代に向けて歌い上げたものです。いわゆる現代の危機感に絶望するのは、たやすいことだが、「一本の草」のように、根強く生き抜く人間性の存在を信じる者にとって、未来への希望は決して消えるものではないと思います。

この歌の中に、終始、底流するのはその永遠の希望と、消えることのない人間性のともしびです。

合同の250名の合唱でうたわれる「若者の歌」を、作曲家の私は誰よりも待ちこがれています。

演奏会の御成功をいのっています。

Advertisement for M. BELBE skin cream. Features a woman's face, product images, and text: 'お肌のくすり... M. BELBE'. Includes details about skin benefits and contact information for Takeda Pharmaceutical Co., Ltd.

Advertisement for Takeda Drawing Instruments Mtg Co., Ltd. Features a compass and text: '最高の品質と生産で奉仕する... Super Takeda 製図器'. Includes company name and contact information.



合同演奏について

合同演奏の重要さ、それを合同に集まった各団体が認識した時、その時こそその合同演奏会の存在価値が認められる時ではないでしょうか。第12回の演奏会を迎える私達東西四大学合唱連盟も、この再認識から出発したのでした。

どうかすると、「合同演奏」というと、音楽の追求ということがなごりにされて、単なる親睦、お祭りの道具に使われているという感じがなくもありません。

創成期では、親睦のため、というのが合同合唱の目的であってもよいでしょう。しかし四連も生長しました。第10回のあたりを契期として、自省や再認識がなされ、「我々は、合同演奏の為に集まるのだ。我々四大学が丸となって、各団体では追求し切れない芸術的なスケールの大きいものを追求しよう。」という目標が確立したのでした。そして、プログラム・ビルも、それまで各校2ステージだったのを1ステージに改め、合同に一層努力をはらおうということになりました。四連もやっと一人前になったところでしょうか。

しかし、東西四大学の地理的な条件、それぞれに忙しい各団体の、スケジュールの調整等を考えてみても、満足のいく合同練習は、はなはだ困難を伴います。しかし、この様な困難をある程度克服し得たのはなによりも木下保先生の音楽への情熱、四連への愛情でした。先生に指揮を依頼し「若者の歌」をやる事に決まって以来、先生には、文字通り東奔西走していただきました。そして、可能な限りの練習は行いました。

我々一同「若者の歌」にうたわれた若者の熱情を、力一杯唱いあげたいと思います。

木下先生の情熱に負けない様に。

- |  |  |
|--|--|
| <b>東西四大学合唱演奏会史</b>   |  |
| 第1回 昭和27年9月21日 同志社栄光館<br>9月30日 大阪産経ホール<br>合同演奏 長井 斉指揮「Ave Maria」<br>「愛でし友」                     | 第7回 昭和33年6月21日 同志社栄光館<br>22日 大阪毎日ホール<br>合同演奏 D・ラーソン指揮<br>「Rock-a ma soul,」「What kind a shoes,」「Never said a mumbarrin' word,」「Joshua fit de battle of Jericho」 |
| 第2回 昭和28年9月20日 日本青年館(昼夜)<br>合同演奏 福永陽一郎指揮<br>「いざ起て戦人よ」「おお美しき星よ」「希望の島」                           | 第8回 昭和34年6月21日 共立講堂(昼夜)<br>合同演奏 木下 保指揮 山田耕稼作品集<br>「からたちの花」「待ちぼうけ」「あわて床屋」「ベチカ」  |
| 第3回 昭和29年9月18日 同志社栄光館<br>19日 大阪産経ホール<br>(昼夜)<br>合同演奏 長井 斉指揮「Zum Gloria」<br>「Zumsnactus」「秋のビエロ」 | 第9回 昭和35年6月25日(土) 京都会館ホール<br>26日(日)大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 長井 斉 指揮「兵士の合唱」「巡礼の合唱」  |
| 第4回 昭和30年9月18日 日本青年館ホール<br>(昼夜)<br>合同演奏 福永陽一郎指揮<br>「Die Nacht」シューベルト<br>「詩篇」103篇 media nita    | 第10回 昭和36年6月17日(土)東京上野文化会館<br>18日(日)<br>合同演奏 木下保指揮「枯木と太陽の歌」  |
| 第5回 昭和31年9月15日 宝塚大劇場<br>16日 同志社栄光館<br>合同演奏 林 雄一郎 指揮  | 第11回 昭和37年6月23日(土)京都会館ホール<br>24日(日)大阪フェスティバルホール<br>合同演奏 福永陽一郎指揮<br>「Listen to de Lambs」  |
| 第6回 昭和32年6月23日 日本青年館(昼夜)<br>合同演奏 磯部 假 指揮<br>「夏が来たかと」「ふるさと」                                     | 第12回 昭和38年6月22日(土)東京上野文化会館<br>23日(日)<br>合同演奏 木下 保 指揮「若者の歌」   |

プロフィール

木下 保

明治36年10月14日兵庫県に生れる。今年丁度還暦をお迎になられる。

昭和3年東京音楽学校を卒業されドイツ、イタリアに留学し、ネトケ・レーヴェ、バイセンボル両氏に師事され、昭和10年に帰朝された。その後東京音楽学校教授となられ、辞任後はオペラ方面にも進出された。近年は合唱の方にも力をそそがれて日本合唱界にとって大きな存在となっている。四大学の合同の指揮をなさって下さるのは第8回、第10回と、今回で3回目であります。

三石 精一

昭和30年芸大指揮科、31年同専攻科を御卒業。ピアノを水谷達夫氏、作曲を下総皖一氏、指揮を金子登氏、クルト・ウエス氏、渡辺暁雄氏に師事される。

東フィル・東唱・藤原歌劇団等の指揮に当られ、NHKのイタリア・オペラ招聘の折には副指揮者として、N響や合唱団の訓練に当られた。ピアニストとしても優れ、ゲルハルト・ヒッシュェを始め多くの音楽家と協演された。音楽会、NHKテレビ・ラジオ等で活躍され、その音楽性のテクニックは楽壇で高く評価され、今後の活躍を期待される人である。

現在、芸大指揮科の講師をなさっている。

福永 陽一郎

1926年神戸に生る。1948年東京音楽学校(現芸大)本科ピアノ科中退。ピアノを井口基成、豊増昇両氏に、指揮法作曲法を近衛秀麿氏に師事。1950年藤原歌劇団に入団。1954年同団常任指揮者となり渡米。1951年畑中良輔氏と共に、「東京コレリアーズ」を創設。プロ合唱活動のパイオニアとして多くの功績を残している。また、学生合唱運動にも強い関心を持ち、同志社グリークラブ、西南学院グリークラブ、法政大学混声合唱団などの顧問、常任指揮者をつとめている。

萩原 照彦

昭和36年に武蔵野音楽大学のピアノ科を御卒業。角尾紫房子女史、宗英子女史に師事され、そのすぐれた力量で将来を囑望されている新進ピアニストである。

井上 直幸

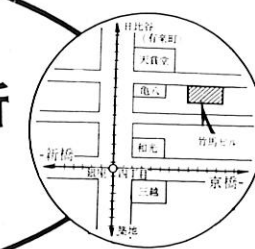
昭和15年博多の生れ。高校大学を通じて桐朋学園に学ばれ、昭和35年に同学園音楽短期大学を卒業された。大島正泰氏に師事しピアノに専心、一昨年故郷博多でリサイタルを開き、楽壇にデビューされ、その後も各種演奏会にピアノ伴奏者として、秀れた技術と音楽性を発揮して将来を囑望されている新進ピアニストである。音楽の他広い趣味をお持ちであり、特に囲碁はお強い。

あなたの美を  
デザインする

美容相談室(無料)

**ポーラ化粧品銀座中央営業所**

中央区銀座4の4 天賞堂横入る



Tel 0571  
5227~9

# 8

# フジテレビ

## チャンネル8

明るい家庭に 楽しい番組

本社、スタジオ 東京都新宿区市ヶ谷河田町七番地




本日ここに恒例の東西四大学合唱演奏会を開催するに当りまして、多数の合唱愛好の皆様にお礼を頂き誠に光栄に存じております。  
私達四大学合唱連盟は、1952年に第1回の演奏会を開催して以来、はやくも12年目を迎える事になりました。その間合同演奏会を東京・関西と隔年に開催し、音楽を中心として互いに誠意と情熱を以って自己の技術を磨き、相互の技術的精神的交流を目的として参りました。この目的が一年一年着々と実を結びつつ、一堂に会して合唱演奏会を盛大に行う事が出来ますのも、一重に御熱心な聴衆の皆様のお温かい御援助の賜と堅く信じております。

この音楽会で、音楽の絆によってかたく結ばれた東西、四つの大学がそれぞれの輝かしい歴史と伝統を背景に各々、各自のものを打出しそして又、この合同演奏会が、四大学の美しい心のハーモニーであれば、この上もない喜びであります。

この私共の素朴な願いが歌声と共に大きく成長しながら、日本合唱界の発展の一端を担うことが出来ますよう皆様の御指導・御馳騁を御願い致します次第であります。


東西四大学合唱連盟

- 委員 宇賀神 一雄 (慶応)  
中野 寿紀 (同志社)  
村田 堅之助 (関学)  
小 梶 勝 (早稲田)



パーキングビル  
地上3階 地下3階  
300余台を収容 車での  
お買物にご利用下さい

**楽しいお買物の散歩道**



**伊勢丹**  
新宿  
(369)1111大代表



新発売



**のどの赤信号**  
排気ガス タバコの吸いすぎ……  
あなたのノドは荒れています スッキリとする 浅田飴クールでノドをお守りください

さわやかにノドをまもる  
**浅田飴 クール**

クール80円・150円  
ニッキ80円・150円・300円 煉150円  
東京都千代田区神田紺屋町18 株式会社 堀内伊太郎商店

AC M 4



味の素株式会社



● どんなお料理でも「味の素」がじょうずにおいしく味を仕上げます。下ごしらえからお使い下さい

観光バスで

富士五湖めぐり

会員募集

会費 1000円(バス代・休憩・入浴・見学科共)  
期間 6月23日より11月24日迄毎日旺祝日急行  
コース 新宿(7.00)～猿橋～河口湖～西湖～精進湖～本栖湖

お問合せお申込は……

新宿案内所 (371) 1790	西銀座案内所 (561) 4865
渋谷案内所 (461) 7373・6248	有楽町案内所 (535) 6601・6602

京王観光K.K.

主催 京王観光K.K.  
後援 日刊スポーツ新聞社・京王帝都観光バス

